

# 住友ゴム工業(株)加古川工場

## 環境保全対策実施報告書

平成27年度(平成27年4月～平成28年3月)に実施しました環境保全対策、及び平成28年度(平成28年4月～平成29年3月)の環境保全活動計画は次の通りです。

### 1. 環境保全対策実施状況(平成27年度)

#### (1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
ガスボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア: ボイラーの定期整備 イ: 排ガスの定期測定 ウ: オンライン24時間監視システム エ: メンテナンス契約(メカ点検・整備等)	・ボイラーメーカーとの24時間監視システムによる運転管理と定期的なメーカー定期整備によりボイラーの適正な運転が出来ました。
② 省エネ改善活動の推進 ア: 省エネ委員会の活動 イ: 蒸気, エア, 熱の漏れ箇所調査、修理 ウ: 生産性向上活動	・原単位は対前年比96.8%で3.2%エネルギー使用率が改善しました。 平成28年度現状は仕損低減活動を行い、原単位2.9%向上できています。 *原単位: 単位生産量当りのエネルギー使用量

#### (2) 騒音・振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールの継続	・工場敷地境界における騒音は、規制値内にあります。 *騒音測定地点は、添付資料をご参照下さい。

#### (3) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 定期測定時にパトロールを実施し、日常管理の強化。又、発生源対策として、溶剤系材料の使用量削減に取り組む。	・工場敷地境界における悪臭等は、規制値内にあります。

#### (4) 緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
★ ① 工場敷地内の緑地の維持管理	・緑化環境の維持・向上が図れました。 絶滅危惧種の育成(フジバカマの加古川河川敷へ移植、ナガボテンツキ・ナガボノリモコウの工場内育成) *添付資料をご参照下さい。

(5) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
① 地域との交流	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 27 年 6 月 1 日～5 日 「トライやるウィーク」で、陵南中学校から 4 名受入れ、生産工場の業務について理解を深めて頂きました。</li><li>平成 27 年 8 月 6 日 高校生の企業見学会（主催：商工会議所）で 10 名の高校生を受入れ、物作りの楽しさの理解を深めて頂きました。</li><li>平成 27 年 11 月 10 日～14 日及び平成 28 年 2 月 29 日～3 月 4 日にインターンシップで高校生合計 4 名を受入れ、社会人としての心構えと物作りの楽しさの理解を深めて頂きました。</li></ul>

(6) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001 の維持	・ 10 月定期審査完了、今後も継続的に環境改善に取り組んで参ります。
② 内部監査	・ 内部監査員スキルアップ研修実施。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm <sup>3</sup> /時)	0.7	0.3
	(t/年)	8.6	2.4

### 3. 環境保全活動

#### (1) 平成 28 年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>「環境に優しい企業活動で、地球の未来を守ります」</p> <p>近年、環境問題は従来の地域社会的な問題から、地球規模という空間的な広がり、将来の世代にもわたる時間的な広がりを持つ問題となってきました。地球環境の保全は国際社会が共同で取り組むべき人類の課題であり、持続可能で環境負荷の少ない経済社会を構築していくことが重要であるとの認識のもとに住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部加古川工場は、社会に信頼される企業の基本的な責務として、全ての事業活動と企業市民としての生活を通して、総合的、創造的に地球環境の保全に取り組みます。</p> <p>～住友ゴム工業(株)ハイブリッド事業本部環境方針抜粋～</p>
組織体制	<pre> graph TD     Manager[経営者] --- Eco[E環境管理 (ECO)委員会]     Manager --- HR[総務・人事課]     Manager --- PM[経理・購買課]     Manager --- M1[製造一課]     Manager --- M2[製造二課]     Manager --- Production[生産課]     Manager --- Engineering[工務課]     Manager --- Quality[品質管理課]     Eco --- EcoComm[課 ECO 委員会]     Eco --- EnergyComm[省エネルギー委員会]     </pre> <p>The organizational chart illustrates the structure of the organization. At the top is the Management (経営者), which oversees the Hybrid Business Division Manager and the Kakogawa Plant Manager. Reporting to Management are the Environmental Management (ECO) Committee, General Affairs/HR Department, Accounting/Purchasing Department, Manufacturing Department 1, Manufacturing Department 2, Production Department, Engineering Department, and Quality Management Department. The Environmental Management (ECO) Committee further oversees the ECO Committee and the Energy Saving Committee.</p>

(2) 平成 28 年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成の為の計画、方策
化学物質対策	化学物質の維持管理による使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 化学物質の維持管理強化による使用量削減を行います。</li> <li>② 取り外した PCB 機器の適正保管を行い、化学物質の漏洩防止を実施。</li> </ul>
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令及び協定の順守</li> <li>・エネルギー原単位を対前年 2.5%削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 工程の生産性を向上させることにより、電力・蒸気原単位の改善を実施します。</li> <li>② 保温の強化拡充及びバルブ・トラップ・配管等の漏れ点検を強化し、迅速に修理を行います。</li> <li>③ 老朽化した空調機を高効率空調機に更新を行い、効率を 20～30% 上げ消費電力を削減します。</li> <li>④ コンプレッサー台数制御による消費電力の削減を行います。</li> <li>⑤ 第 3 工場工程排水の再利用を行います。</li> </ul>
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令の順守</li> <li>・廃棄物発生率(有価除く)対前年 2.5%原単位削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 製品の仕損を削減して廃棄物発生量の削減に努め、引続きゼロエミッションを継続します。</li> </ul>
騒音防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令及び協定の順守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールを継続します。</li> </ul>
緑化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① どんぐりプロジェクトの推進。</li> <li>② 生物多様性保全活動拡大 「フジバカマ」「カガボネツキ」「カガボノルモコ」の育成。</li> </ul>
悪臭対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令及び協定の順守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 定期測定時にパトロールを実施し、日常管理の強化に努めます。 又、発生源対策として、溶剤材料の使用量削減と水系化の取り換えを進めます。</li> </ul>
土壌汚染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令及び協定の順守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 浄化処理を継続します。又、定期測定結果を市環境政策課殿へ報告継続します。</li> </ul>
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの運用と推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ISO14001 環境マネジメントシステムの運用により、環境面での継続的改善を図って行きます。</li> </ul>

<p>地域社会への参画</p>	<p>・地域社会との相互理解強化と環境保全活動への参画</p>	<p>① 例年通り「トライやるウィーク」による中学校生の受入れ実施。 ② 事業所周辺の清掃活動。</p>
<p>環境コミュニケーション</p>	<p>・環境情報の開示</p>	<p>① 環境保全対策実施報告書の加古川市ホームページ公開</p>
<p>周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等</p>	<p>・事故等の事態に係る情報を広く市民に周知する。</p>	<p>① 関係官庁・近隣住民の方への迅速な連絡を実施。 ※事故等に係る問い合わせ 住友ゴム工業株式会社 ハイブリッド事業本部 加古川工場人事総務課 電話番号 079-424-0111 または、 住友ゴム工業株式会社 広報部 電話番号 079-265-3000</p>

添付資料

緑化活動

① フジバカマ育成保全(平成 27 年 4 月)

絶滅危惧種『フジバカマ』を加古川工場内で育成増株を行い  
加古川河川敷のわんどへ移植し、生物多様性保全を実施。



② ナガボノワレモコウの育成  
平成27年4月 株分け実施  
第2工場敷地内



③ ナガボテンツキの育成  
平成27年4月  
第2工場敷地内



④ どんぐり苗木を植樹

高砂市阿弥陀町の鹿島・扇平自然公園内の里山にどんぐり苗木を植樹活動実施。  
NPO法人高砂キッズ・スペース（児童）も参加（平成 27 年 3 月）。  
年 2 回（7 月/9 月）下草刈りも行っている。



添付資料： 工場配置図及び騒音測定場所

